

厚手の服に身を包み、信号を待つ人々。17日、那覇市内(金良孝夫撮影)



寒さ「びっくり」

国頭10・3度 この冬一番

沖縄地方は17日、大陸にある高気圧の張り出しにより寒気が流れ込み、北風が強まるなどして各地で冷え込んだ。

沖縄気象台によると、那覇市をはじめ、県内の28カ所中26カ所の気象観測地点で今季最低気温を記録した。国頭村奥で10・3度と県内で最も低い気温を観測した。17日以降は寒さが和らぐが、今後も前線の通過後は寒さと北風が強くなると思われる。沖縄気象台は強風や高波に注意

を呼び掛けている。那覇市内の最低気温は13・3度で、日中になっても気温はあまり上がらず、厚手の服を着込んだ人が冷たい北風の中、足早に歩く姿が見られた。信号待ちをしていた三井莉世さん(21)「那覇市は「こんな寒さは味わったことがない。びっくりだ」と体を震わせながら話した。強風の影響により、空や海の便に影響が出た。空の便は17日は、沖縄を発着する22便が欠航し、18日も2便の欠航が決定している。海の便は17日、多くの便が欠航した。18日は、天候の状況を見て判断する。